

令和5年度区民参加型予算 投票事業一覧

投票番号	事業名	事業概要
1	間伐材を使った木工品を展示	ワークショップを通じて子どもたちが木工品を作成し、区が実施するイベントなどで展示、あわせて森林保全につながる取組の啓発パネルも展示
2	歩行者が気軽に利用できる木製ベンチをまちなかに広めよう	民間事業者、地域団体の方々や区民が、まちなかにベンチを設置する場合に費用を一部支援、区の施設や駅前広場の空いているスペースに区がベンチを設置
3	「科学と自然の散歩みち」の案内板に木材を利用してリニューアル	旧井草川・遊歩道・妙正寺川・妙正寺公園などをつなぎ、誰もが楽しく周遊できる「散歩みち」の案内板に木材を利用
4	木のおもちゃ、森に関する絵本で子どもの健やかな成長を応援	児童館などの子どもが利用する施設に積み木のおもちゃを、乳幼児が使用する集会施設に森林の大切さを教える絵本を用意
5	区立公園に木製の遊具やベンチを設置	区立公園に木製の遊具やベンチを設置
6	災害時に活用できる用具を公園に設置	区立公園に災害時に活用できる用具を設置
7	区立保育園等で子どもたちへの木育を通じた国産材おもちゃの活用	子どもたちの木や森への親しみ・自然への関心や興味を育み、国産材のおもちゃを活用して木の良さや日本の森の話を伝える
8	青梅市に行く！体験型の森林環境学習	青梅市にある森林で林業事業者の協力を得て、間伐体験や木のものづくりを体験できるツアーを実施
9	多摩産材の利用を促進	多くの区民に多摩産材を知ってもらい利用を促進するため、多摩産材の利用方法等をまとめた冊子を作成し、区内に全戸配布
10	ウッドチップを区立公園に活用	間伐材をウッドチップとして制作し、区立公園に活用

投票番号

1

間伐材を使った木工品を展示

約400万円

- ワークショップを通じて子どもたちが木工品を作成、区が実施するイベントなどで展示
- 森林保全につながる取組の啓発パネルもあわせて展示



例：環境ロビー展
区役所ロビーに作成
した木工品を展示！



期待される
効果

- 間伐材を身近に感じ、木材の大切さを学べる
- 木材利用を通じて森林整備や地球温暖化防止など森林の多面的機能を学べる

投票番号

2

歩行者が気軽に利用できる 木製ベンチをまちなかに広めよう

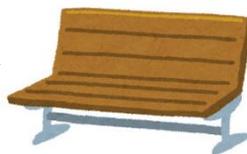
約100万円

- 民間事業者、地域団体や区民が、まちなかにベンチを設置する場合に費用を一部支援
- 区の施設や駅前広場の空いているスペースに区がベンチを設置



区内の民間事業者
地域団体、区民

ベンチを設置



費用を支援

区



杉並区

区がベンチの設置
場所を検討・設置



《イメージ》

期待される
効果

- 安心して歩くことができる環境整備
- 来街者を受け入れるまちの機運の醸成
- 商店街や地域の活性化

投票番号

3

「科学と自然の散歩みち」の案内板を木材を利用してリニューアル

約1,100万円

➤ 旧井草川・遊歩道・妙正寺川・妙正寺公園をつなぎ、誰もが楽しく周遊できる「散歩みち」の案内板に木材を利用



《現在》



《更新後》



期待される
効果

- 老朽化した木製案内板の更新を行うことで、適切な案内が可能
- 木製の案内板は、みどり豊かな歩行空間として周囲と調和することが期待

投票番号

4

木のおもちゃ、森に関する絵本で 子どもの健やかな成長を応援

約920万円

- 児童館などの子どもが利用する施設に、積み木のおもちゃを用意
- 乳幼児が使用する集会施設に森林の大切さを教える絵本を用意



いつでも多くの子どもが遊べるよう、また、家庭では体験できない積み木遊びができるよう、大量の積み木を用意



コミュニティふらっと東原、セシオン杉並の談話コーナーのキッズスペースに森林に関する絵本を用意

積み木は、0歳から大人まで、誰でもが楽しむことができるおもちゃです。子どもの成長にあわせて、ずっと長く「木のぬくもり×遊び×創造力」を与えてくれます。



期待される
効果

- 木材への関心を高め、木材利用を促進する機運を醸成
- 自然素材（木のぬくもりや香りなど）が子どもの五感を育み、情操を豊かにすることに寄与
- 子どもの日常の遊びに木材を取り入れることを啓発
- 絵本を通じて森林に対する関心を啓発

投票番号

5

区立公園に木製の遊具やベンチを設置

約2,000万円

➤ 区立公園に木製の遊具やベンチを設置

※公園の新設に係る地元説明会やワークショップ等で、木製遊具の設置要望があった場合に対象



木製遊具は、遊びの機能に加え、木の香りやあたたかな肌触りから「木のぬくもり」を感じることができます。公園というみんなが集まる場で、「木のぬくもり×遊び＝成長」を体感しましょう。



期待される
効果

- 身近な公園で自然素材（木材）に接することにより、自然への関心を高める
- 夏は熱くならない木材を使うことで夏の日差しによる遊具の温度上昇が抑えられ、利用者が使いやすい

投票番号

6

災害時に活用できる用具を 公園に設置

約200万円

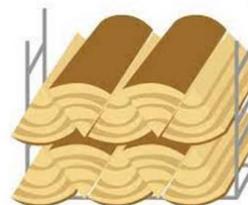
➤ 区立公園に災害時に活用できる用具を設置

※公園の新設に係る地元説明会やワークショップ等で、防災関連施設の設置要望があった場合に対象

《かまどベンチ》



かまどベンチとは、普段はベンチとして利用し
震災時は炊き出しに利用できます。



かまどベンチ活用のため
公園に薪を備蓄

期待される
効果

- 防災機能の向上
- 区民の防災意識の向上

投票番号

7

区立保育園等で子どもたちへの木育を通じた国産材おもちゃの活用

約400万円

- 子どもたちの木や森への親しみ・自然への関心や興味を育む
- 国産材のおもちゃを活用して木の良さ、日本の森の話を伝える

国産材おもちゃで遊びながら、
木や森への興味を養う



子ども達の育成！



森林保全の促進

期待される
効果

- 子どもの自然や森林への意識啓発
- 国産材おもちゃの購入による取扱事業者の活性化と木材利用促進

投票番号

8

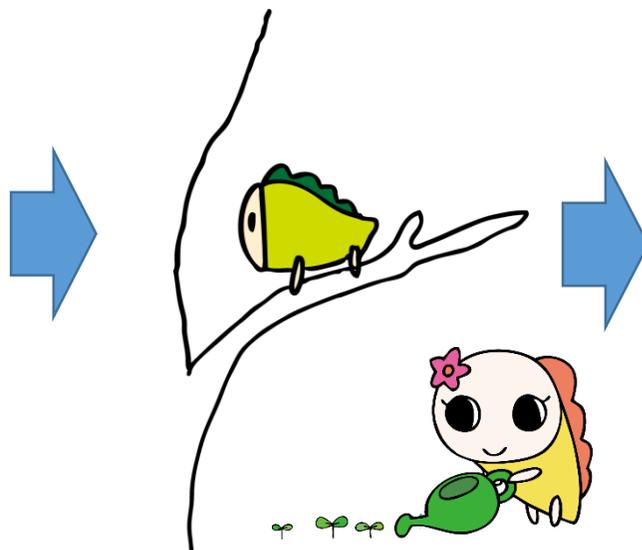
青梅市に行く！ 体験型の森林環境学習

約400万円

- 青梅市にある森林で林業事業者の協力を得て、間伐体験や木のものづくりを体験できるツアーを実施



バスで杉並区内から青梅市へ！



林業体験などで森林に対する理解を深める。



参加して森林の大切さがわかった！

期待される
効果

- 森林の機能等を実地で体感する機会
- 森林整備に当たって林業が果たす役割への理解の促進
- 間伐材を身近に感じ、木材を使うことの大切さを学ぶ
- 交流自治体に対する理解が深まる

投票番号

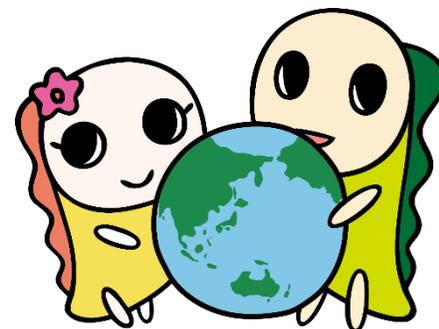
9

多摩産材の利用を促進

約1,900万円

- 多くの区民に多摩産材を知ってもらい利用を促進
- 多摩産材の利用方法等をまとめた冊子を作成・区内に全戸配布

多摩産材の冊子を作成し、
区内に全戸配布



- ◎森林の環境保全
- ◎二酸化炭素の削減

◎区民による多摩産材の活用事例の増加

出典：東京都森林事務所ホームページ (<https://forestry-office.metro.tokyo.lg.jp/approach/tamasanzai/index.html>)

期待される
効果

- 区民の多摩産材利用に対する知識の向上
- 多摩産材の使用が増えることで、多摩地域の森林の成長（間伐）・更新（主伐）を促し森林の環境保全につながる
- 木材の地産地消をすることで輸送時に排出される二酸化炭素を削減

投票番号

10

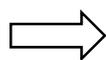
ウッドチップを区立公園に活用

約280万円

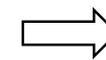
▶ 間伐材をウッドチップとして制作し、区立公園に活用



間伐材の活用



ウッドチップづくり（安全のためガーデンシュレッダーを使用）



できたウッドチップを区立公園で使用

期待される
効果

- ウッドチップを区立公園に活用することで、見栄えが良くなる
- 多摩産材で製作したウッドチップを活用することによる木材利用が促進